

令和7年度



桂林小だより

令和7年7月15日

第4号

校長 加藤 慶一

みなさん、すごい時代になりました... 桂林小の子どもたちが台湾の小学生と 交流しました！

画面の中から台湾の子どもたちがこちらを見ています。台湾の教室では桂林小の子どもたちが同じように見えていることでしょう。



六月二十四日、桂林小学校の五年生と六年生が、台湾の小学生と交流しました。...と言つても台湾から小学生がやつてきたわけでもありませんし、桂林小の子どもたちが台湾の小学校を実際に訪問したわけでもありません。台湾と日田とをオンラインで結ぶ交流会でした。

桂林小の五・六年生からは、日本や大分、日田のことや、アニメ、人気の食べ物、着物、お祭りなどを紹介しました。繩跳びやけん玉なども披露しました。台湾の小学生たちは、学校生活の様子や台湾で有名な食べ物・飲み物などが紹介されていました。

互いに知りたいことを英語で質問し合う場面もあり、終始、子どもたちの顔は興味津々でキラキラしていました。子どもたちにとってとても貴重な良い経験となりました。

台湾の小学生たち相手に「伝えよう」「伝えたい」という気持ちをもつてコミュニケーションを図る活動でした。普段の外国語の授業ではなかなか味わうことができない素晴らしい体験だつたと思います。いっしょに良い経験をさせていただきました。

英語を使ってお互いに会話をする子どもたちの様子を見ていて、恥ずかしながら、私は目の前で国境を越えて繩り広げられるこの光景に、驚きとともに「すごい時代がやってきたものだ...」とえらく感動をおぼえてしまいました。

六月十六日は「オープンスクールデー」でした。多くのうちの方や地域の方が参観にいらしてくださいました。今回は、教科の学習だけではなく、児童会行事「桂林フェスティバル」も見ていただきました。この活動は、以前ご紹介しましたように全学級で子どもたちが話し合い、実施までこぎつけたものです。

一緒に参加してくださった方がたくさんいらっしゃいましたので、子どもたちと一緒に励みになります。



桂林フェスティバル
いかがだったでしょうか

最近、残念なことがあります。この写真を見て、どう思いますか？



水曜朝の全校集会で環境美化委員会の子どもたちが、スクリーンに数枚の写真を映し、「みなさん、この写真を見て、どう思いますか？」と、全校児童に問い合わせてくれました。その写真に写っていたのは、運動場に捨てられていたお菓子の袋や、遊んだ後にそのまま放置されたであろうジョウロやスコップでした。環境美化委員の子どもたちはこう続けました。

桂林小学校を、日田市で一番きれいな学校にするためには、このままではいけません。

「みんなで使ったものは元の場所に返しましよう。」
「お菓子は学校に持ってきて食べないようになります。」「みんなでルールを守ってください。」

写真のような事実を知った環境美化委員の子どもたちは、このことをどう全校

で考えていくべきか話し合い、伝えるべき内容を吟味していったそうです。そして、役割分担を決め、全校集会当日を迎えたのでした。受けとめる全校の子どもたちの表情もとても真剣でした。みんなで考えていくとする気持ちが伝わってくるようでした。

桂林小学校では、伝え合い、話し合う「かしこさ」をもつた子、問題に気づき、解決しようとすると、そして、生活を向上させようとすると「たくましさ」をもつた子を育てようとしています。そんな中、子どもたちから子どもたちへと投げかけられ、そして受けとめようとする姿は、大変意義深いものとして私の目に映りました。子どもたちとともに、大事なものを受けかけをありがとう。

子どもたちの日常の姿の中に、学校教育目標「こころゆたかにかしこくたくましく」を感じることができた瞬間で

二年生・三年生・ぐんぐん・のびのび 野菜たちが元気に育っています

二年生や三年生、ぐんぐん、のびのびの子どもたちが育てている野菜たちが、元気いっぱい立派に育っています。キュウリやミニトマト、ナス、オクラ、ピーマン、トウモロコシなどなど、様々な種類の野菜たちですが、子どもたちが水やりや草とりのお世話にがんばっています。生活科や理科での観察もしっかり取り組めていて素晴らしいです。

二年生の学習では、ゲストティーチャーとして地域の方が協力してくださっています。坂本辰己さんと池永幸則さんは、子どもたちが充実して学習に取り組めております。大変ありがとうございます。



↑2年生の畠の先生
坂本さん・池永さん
いろんなことを教えて
くださっています。
ありがとうございます。

